



## 第8回世界コンピュータ会議 (IFIP CONGRESS '80)

### 第8回世界コンピュータ メルボルン会議出席旅行について

既にご承知のごとく、来年1980年10月に東京およびメルボルンに於て第8回世界コンピュータ会議 (IFIP Congress' 80) が開催されます。

会議日程は前半10月6日(月)より9日(木)までは東京で、後半10月14日(火)より17日(金)まではメルボルンでそれぞれ開催され、全登録者は両会議に出席する事が出来ます。

同会議の実行委員会におきまして現在、東京、メルボルン間の割引き団体旅行を計画中であり、費用・日程はおおよそ下記のような予定です。

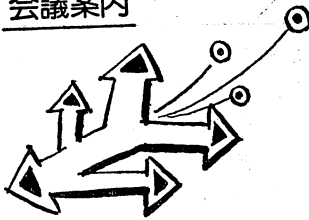
なお、この案は30名を基準としており、参加者の増加にしたがって更に低額になる可能性があります。

Aコース	1980年10月11日(土) 夜東京発	10月21日(火) 朝東京着
Bコース	1980年10月11日(土) 夜東京発	10月26日(日) 朝東京着
費用	¥ 343,000	

上記費用には往復の航空運賃、会期中のホテル宿泊費を含みます。詳細は下記にお問い合わせ下さい。

東京都港区琴平町35番地 船舶振興ビル内  
株式会社 日本交通公社  
海外旅行虎の門支店  
電話東京 (03) 5 0 4-1 7 4 1  
担当: 野口, 牛窪

会議案内



《国際会議》

会議名 MEDINFO 80 TOKYO

(第3回医療情報科学国際会議)

開催期日 1980年9月29日(月)~10月4日(土)

開催場所 新宿京王プラザホテル

共催 医療情報システム開発センタ, 関西情報センタ, 日本エム・イー学会, 情報処理学会

母体機関 情報処理国際連合 (IFIP)-TC-4 (IMIA)

登録費

1. 1980年6月30日以前 50,000円
2. 1980年7月1日以降 55,000円
3. 下記の何れかに登録の際 40,000円

- 第8回世界コンピュータ会議
- 第7回国際放射線治療とコンピュータ利用会議
- 自動化健診国際会議

PROGRAM SUMMARY

Room	Time	Sept. 29 (Monday)	Sept. 30 (Tuesday)	October 1 (Wednesday)	October 2 (Thursday)	October 3 (Friday)	October 4 (Saturday)	
Room 1			Opening Ceremony (10:00-12:00)				Closing Ceremony (12:00-12:30)	
Room 2	9:00 } 12:00	Conference Registration will start at 10:00 a.m. at registration desks of Keio Plaza Hotel.		(2) Hospital Care, Nursing, Care Plans, Medical Information Systems	(4) Clinical Lab., Pathology EEG, EMG, etc.	(5) Imaging, Xray, Ultrasound, Nuclear Medicine, Stereometrics	(7) Rehabilitation, Tertiary Care, Artificial Organs Prosthesis, Sensory Aids	
	14:00 } 17:00		(1) Computers in Radiation Therapy (Joint Session)	(10) Computerized Electrocardiography	Excursion (optional)	(6) Diagnosis, Clinical Decision Making		
Room 3	9:00 } 12:00			(12) Health Care Planning, Utilization, Evaluation, Emergency Systems	(16) Medico-Social-Legal-Ethical Issues, Privacy, Security	(3) Physician Office Management, Primary or Ambulatory Care	(8) Therapy, Surgery, Intensive care	
	14:00 } 17:00		(11) Administrative of Financial Systems	(13) Preventive, Occupational, Environmental Care	Excursion (optional)	(9) Pharmacy, Drug Information Systems		
Room 4	9:00 } 12:00			(18) Biomedical Research, Modeling, Biomathematics, Signal Analysis	(20) Advanced Larged Computer or Mass Storage Applications	(21) Advanced Mini or Micro Computer Applications	(23) Language Linguistics, Text Processing, Nomenclature, Artificial Intelligence	
	14:00 } 17:00		(17) Clinical Research	(19) Data Base or Medical Record Applications	Excursion (optional)	(22) Advanced Communications, Telemedicine or Network Applications		
Room 5	9:00 } 12:00			(25) Mini or Micro Computers	(27) Soft ware	(14) Registries, Epidemiology, Biostatistics	(28) Automated Multiphasic Health Testing (Joint Session)	
	14:00 } 17:00		(24) Large Systems and Networks	(26) Terminals, Man-Machine Interface	Excursion (optional)	(15) Medical, Paramedical, User or Patient Education		
Evening			Opening Reception	Workshop	Workshop		Farewell Party	

## 展 示

MEDINFO 80, 第8回世界コンピュータ会議, データショーの連合展示会

会期: 1980年10月3日~8日

会場: 国際貿易センター (晴海)

## 登録申込み

〒107 東京都港区赤坂 2-3-4 赤坂パークビル 10階  
(財) 医療情報システム開発センター総務部  
Tel. 03(586)6321

なお、資料は60円切手同封のうえ、学会事務局までご請求ください。

Tel. 03 (641) 1171

会 議 名 3rd World Conference on Computer Education (WCCE 81)

開催期日 1981年7月27日~31日

開催場所 ローザンヌ (スイス)

論文締切 1980年7月15日

問合せ先 〒182 調布市調布ヶ丘 1-5-1

電通大・計算機科学 有山 正孝  
Tel. 0424(83)2161

会 議 名 第3回船舶の運航の自動化国際シンポジウム (The Third International Symposium on Ship Operation Automation) (ISSOA-79)

主 催 IFIP, 日本航海学会, 日本船用機関学会, 日本造船研究協会, 日本船用工業会

協 賛 IFAC, 情報処理学会ほか

開催期日 1979年11月26日(月)~29日(木)

開催場所 経団連会館 (千代田区大手町 1-9-4)

登録費 1979年10月15日まで 30,000円  
1979年10月16日以降 35,000円

## 内 容

(1) 論文発表 世界14カ国からの論文44編の発表討論

(2) パネル討論会 “1980年代後半の海運システムはどうあるべきか”

(3) 見学会 東京湾航行管制センター等

連絡先 東京都江東区越中島 東京商船大学内  
ISSOA-79事務局 事務局長 飯島 幸人

会 議 名 コンピュータソフトウェアおよび応用国際会議 (COMPSAC 79)

開催期日 1979年11月5日(講習会), 6日~8日(本会議)

開催場所 シカゴ市 (米国)

主 催 米国 IEEE Computer Society

内容 コンピュータのソフトウェアと応用の各分野にわたり、ソフトウェア開発方法、要求仕様、通信用ソフトウェア、画像工学・パターン認識用ソフトウェア、分散システム、オフィス・オートメーション、生産用ソフトウェア等48のセッションに分かれて約200の論文発表、パネル討論が行われる。

国内連絡先 〒113 東京都文京区本郷 7-3-1

東大・理・情報科学科 国井利泰気付  
COMPSAC 79 担当 小野田

Tel. 03(812)2111 内4116, 4092

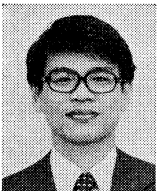
なお、資料は50円切手同封のうえ、学会事務局までご請求ください。

## 筆者紹介



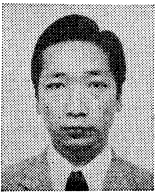
柴谷 方良

1944年生。1972年 B. A. 1973年 Ph. D. をカリフォルニア大学バークレーで取得（言語学専攻）南カリフォルニア大学言語学科助教授を経て現在神戸大学助教授。研究テーマ：日本文法・統語論。著書，編著書：『日本語の分析』大修館書店（1978年），*Japanese Generative Grammar Academic Press*（1978年），*The Grammar of Causative Constructions Academic Press*（1978年），日本言語学会，Linguistic Society of America 各会員。



中野 洋（正会員）

昭和18年生。昭和42年京都府立大学文家政学部文学科卒業。昭和43年国立国語研究所入所。以来電子計算機による語彙調査，およびその自動化，現代語の語彙の計量的研究に従事。現在，同所言語計量研究部主任研究官。国語学会，計量国語学会，行動計量学会各会員。



野村 雅昭

1939年生。1962年東京教育大学文学部国語学国文学専攻卒業。現在国立国語研究所言語計量研究部第二研究室長。漢字・漢語を中心とした，現代語の語彙・表記の計量的分析に従事。



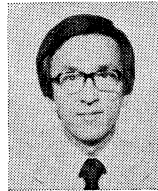
佐藤 泰介（正会員）

昭和24年生。昭和48年東京工業大学卒業。昭和50年同大学院（電気）修了，同年電子技術総合研究所入所，以来自然言語処理の研究に携わられる。電子通信学会会員。



田中 穂積（正会員）

昭和16年生。昭和39年東京工業大学理工学部制御工学科卒業，昭和41年同大学院修士課程修了，同年電気試験所（現電子技術総合研究所）入所。以来，オペレーティングシステムの研究，自然言語処理の研究に従事。この間，昭和46年より1年間，スタンフォード大学計算機科学科客員研究員。

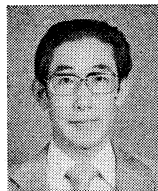


山梨 正明

昭和23年生。昭和50年ミシガン大学大学院博士課程修了（言語学専攻，Ph. D.）。同年東京教育大学（現筑波大学）文学部英文科復学。翌51年卒業。同年大阪大学，言語文化部講師，現在に至る。理論言語学，特に統語論・意味論の研究に従事。『生成意味論研究』（開拓社，昭和52年）により語学教育研究所より市河三喜賞受賞。アメリカ言語学会，日本言語学会，日本英文学会各会員。

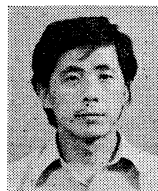
辻井 潤一（20巻8号参照）

長尾 真（20巻3号参照）



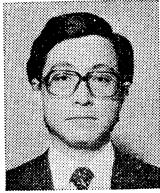
渋谷 政昭（正会員）

1930年生。東京大学工学部応用物理学科卒業（1953）。同工学修士，大阪大学工学博士。統計数理研究所（文部省），ウェスタン・オンタリオ大学等を経て，現在，日本アイ・ビー・エム（株）サイエンティフィック・センター主管研究員。数学会，OR 学会，国際統計協会各会員。



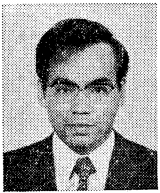
藤崎 哲之助（正会員）

1947年生。昭和44年東京大学工学部計数工学科卒業。昭和46年同大学院修士課程修了。同年日本アイ・ビー・エム（株）に入社。東京サイエンティフィック・センターにて，自然言語処理，日本語情報処理の研究に従事。電子通信学会，計量国語学会各会員。



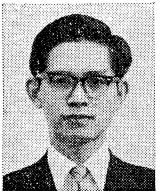
鷹尾 洋一 (正会員)

昭和21年生。昭和44年東京大学理学部物理学科卒業。昭和46年同大学院修士課程修了。同年日本アイ・ビー・エム(株)に入社。東京サイエンティフィック・センターにて、データベース、自然言語処理、画像処理等の研究に従事。電子通信学会、画像電子学会、ACM各会員。



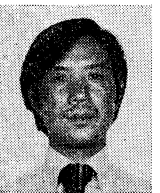
絹川 博之 (正会員)

昭和22年生。昭和45年東京大学理学部数学科卒業。同年、(株)日立製作所に入社。現在、同社システム開発研究所にて、日本語・漢字情報処理、情報検索関連の研究・開発に従事。電子通信学会、計量国語学会各会員。



森 健一 (正会員)

昭和13年生。昭和37年東京大学工学部応用物理工学科卒業。同年東京芝浦電気(株)入社。昭和46年東京大学工学博士。現在総合研究所情報システム研究所主任研究員。パターン認識、自然言語処理、人工知能研究について興味をもっている。昭和45年大河内記念賞、特許長官賞。IEEE、電子通信学会各会員。



河田 勉 (正会員)

昭和21年生。昭和44年九州大学工学部電子工学科卒業。昭和46年同大学院修士課程修了。同年東京芝浦電気(株)入社。総合研究所に所属。漢字OCRの開発に従事。現在の研究テーマは、日本語ワード・プロセッサ、自然言語処理である。また、人工知能、認知科学全般に興味を持っている。電子通信学会、ACL各会員。



荒木 啓介

1941年生。1966年東京大学薬学部薬学科卒業。現在、特殊法人日本科学技術情報センター職員。情報検索、化合物情報に2,3の研究がある他、言語問題に近年力を入れている。ロシア語、ドイツ語、フランス語、中国語は15年以上のキャリアがあり、情報処理上の言語研究に役立てたく思っている。一昨年、日独協力の一環として西ドイツに滞在し、実用場面で言語研究に触れた。



板山 和彦

昭和22年生。昭和44年東北大学理学部地学科卒業。同年日本科学技術情報センター入所。現在に至る。地球科学分野の情報検索、抄録作成、シソーラス作成に従事。昭和51年より、荒木とともに和文標題の自動分かち書き・カナ変換の研究に取り組む。



中井 浩 (正会員)

昭和2年生。昭和26年名古屋大学理学部物理学科卒業。昭和26~28年広島大学理論物理学研究所助手。素粒子論(二体間数)の研究。昭和29~32年通産省工業技術院より科学技術庁に転出。日本科学技術情報センターの設立計画へ参画。昭和32年から日本科学技術情報センター、現職は技術管理室長。昭和35年から慶応義塾大学文学部図書館情報学科講師、情報分析論の講義を担当。

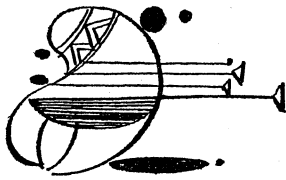


荻野 綱男 (正会員)

昭和27年生。昭和50年東京大学文学部言語学科卒業。昭和52年同大学院人文科学研究科修士課程修了。同年東京大学文学部言語学科助手となり現在に至る。コンピュータ言語学・方言学の研究に従事。著書「日本語品詞列集成」(電子技術総合研究所・共著)。日本言語学会、国語学会、計量国語学会、行動計量学会、全国大学国語国文学会各会員。

高橋 延匡 (20巻1号参照)

## 研究会報告



## ◇第18回計算言語学研究会

{昭和54年7月11日(水), 於電子技術総合研究所  
A会議室, 出席者60名}

## (1) An Actual Large Scale Project of Machine Translation --- The European Community

Bernard Vauquois (グルノーブル大)

## [内容梗概]

ヨーロッパ共同体では、6~9ヶ国語が使用されており、翻訳に莫大な費用をかけている。1976年に実験的に SYSTRAN を導入して機械翻訳実験を行ってきた。しかし、SYSTRAN は、2ヶ国語間の翻訳システムであるため限界がある。そこで、1978年から、多言語間翻訳システムを作成するために、ヨーロッパ共同体では、新しい機械翻訳システム・プロジェクトを発足させた。本稿は、“EUROTRA”の計画書の抜粋であるが、これは、第二世代の機械翻訳システムをねらったものである。(計算言語学研資料 79-18)

## (2) Discussion about Software Tools for MT and Natural Language Processing

Bernard Vauquois (グルノーブル大)

## [内容梗概]

第2世代の機械翻訳システムではつぎの3つの処理過程が必要になると考えられている。①解析過程(形態素解析, 中間レベル解析)②変換過程(語彙変換, 構造変換), ③出力過程(構文検査と出力, 形態素変換)。これらに、パーザは大きな役割を果たすが、文脈自由文法によるパーズ・アルゴリズムを概観する。つぎにそれらの問題点を指摘し、機械翻訳システムの作成や、自然言語処理を行うための道具として現在使用されている ATN, MIND, QSYSTEM, PLATON, REZO, ROBRA などの software tool でそれらがどのように解決されているかを示した。

(計算言語学研資料 79-18)

## ◇第14回データベース管理システム研究会

{昭和54年7月13日(金), 於機械振興会館6階65

号室, 出席者50名}

## (1) SCLAMS: データ処理システム

相沢輝昭, 畑田のぶ子 (NHK・総技研)

## [内容梗概]

非定型の少量のデータをオンライン会話形式で迅速に検索することを目的とした小規模データベース試作システムを報告した。ファイルよりも小さい独自の S.L. (Scaled Lattice) をデータ・モデルとし、処理の基本単位としたことが特徴である。システムは3モードから成る。蓄積モードでは与えられたファイルを S.L. に分解してシステムに蓄積した。検索モードでは S.L. につけられた名前をキーワードとして望みの S.L. を検索した。操作モードでは、一部に日本語を組込んだデータ操作言語を用いて S.L. の細部データの抽出・加工等の各種処理を行った。

(データベース管理システム研資料 79-14)

## (2) AIDS: データベース設計システム

真名垣昌夫, 川越恭二 (日電・中研)

## [内容梗概]

AIDS (An Infological Data Base Design System) は概念スキーマ設計から物理スキーマ設計までを支援する対話型データベース設計システムである。本報告では AIDS における応用領域のモデリングとして情報記述言語およびプロセス記述言語について述べた。またデータベースシステム設計と運営を統一的管理を支援することを目的とした AIDS ディスクリプタ (ディクショナリ) についても論じた。

(データベース管理システム研資料 79-14)

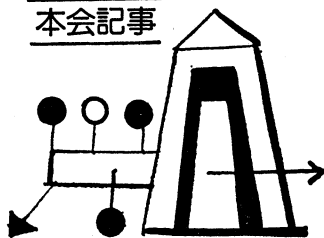
## (3) 関係データベースでの利用者視野を通してのデータ処理について 増永良文 (東北大・通研)

## [内容梗概]

データベースシステムが利用者視野(ビュー)をサポートする機能を備えることにより利用者に多大の便宜を与えうることが期待されている。しかしながらビューは一般に仮想的データ集合であるため、ビューに発せられたデータ操作はそれを実現する物理データ操作に変換されて意味を持つ。この変換は一般に困難で時には不可能であることが指摘されているが、本報告では対象を関係データベースとし(i)自然結合ビューからの一タプル除去操作, (ii)矩形則に抵触するデータ操作, (iii)自然結合ビューへの一タプル挿入操作, の際発生するかもしれない不整合について再吟味し、ビューを通してのデータ処理能力を向上させるための二, 三の提言を行った。

(データベース管理システム研資料 79-14)

## 本会記事



### 第 225 回理事会

日時 昭和 54 年 7 月 19 日 (木) 17 : 30 ~ 21 : 00  
 場所 機械振興会館 6 階 65 号室  
 出席者 小林会長, 高橋副会長, 石井, 木村, 後藤,  
 近谷, 矢島各常務理事, 首藤, 飯村, 河野,  
 川崎, 沢田, 平沢, 淵, 三井, 山本各理事,  
 関口監事, 萩原関西支部長, 重井氏 (東北支  
 部長代理)  
 (事務局) 菅谷事務局長, 坂元局長代理, 田  
 原課長

#### 議 事

1. 総務関係 (木村常務理事, 平沢理事)
  - 1.1 昭和 54 年 6 月期に 44 回 (うち規格関係 19 回) の会議を開いた。
  - 1.2 昭和 54 年 7 月 18 日 (現在) の会員状況
 

正 会 員	12,886 名 (前回より 45 名増)
学生会員	473 名 (前回より 2 名増)
賛助会員	174 社 (281.5 口)

 (前回より 2 社増)
  - 1.3 7 月 24 日 (火) 18 時から東京 YMCA で開催予定の「54 年度役員・委員合同懇談会」の議題を確認した。
  - 1.4 54 年 6 月末 (現在) の会計報告
2. 機関誌関係
  - 2.1 会誌「情報処理」(榎本常務理事, 飯村理事)「情報処理」第 20 巻 8 号「ソフトウェアツール」小特集, 9 号ならびに 10 号「日本語情報処理」大特集の編集が順調にすすめられている旨報告があった。
  - 2.2 「情報処理学会論文誌」(首藤理事, 川崎理事)論文誌編集状況ならびに 20 周年記念論文委員会(委員長・相磯秀夫)からの依頼により, 論文査読に協力することになっている旨説明があった。
  - 2.3 欧文誌「Journal of Information Processing」(後藤常務理事, 三井理事)
 

去る 7 月 6 日 (金) に行った同編集委員会の審議内容につき報告があり, 下記委員の委嘱を了承した。

- ① 査読委員: 町野治弘, 野村邦彦, 安井敏雄
- ② Advisor, Technical Writing: G. Economos

3. 事業涉外関係 (石井常務理事, 三浦理事, 河野理事, 沢田理事)

#### 3.1 20 周年記念事業について

同実行委員会を本日開催し, 記念論文, 記念講演, 新版情報処理ハンドブックなどにつき各担当委員から準備状況について報告があった。

なお, 次の通り新委員を委嘱した。

副委員長: 高橋副会長

委 員: 平沢, 榎本, 河野, 沢田, 近谷各理事

#### 3.2 第 20 回全国大会

来週月曜から開催される全国大回は, 一般講演申込み 506 件で, 大体前年度なみである旨報告があった。

4. 調査研究関係 (近谷常務理事, 淵理事)

#### 4.1 研究会 研究委員会について

去る 6 月 28 日開催の第 27 回調査研究運営委員会では, (1)各研究会の予算配算, (2)54 年度新設の「日本文入力法」および「総合 CAD/CAM」両委員会の委員構成, (3)54 年度研究委員会, 研究会活動計画, および(4)学会内の研究会の共催の実施方法の具体案などにつき審議した旨報告があった。

#### 4.2 規格委員会について

去る 6 月 26 日第 57 回規格委員会が開催された旨報告があった。

5. 国際関係 (矢島常務理事, 山本理事)

5.1 本日午前に IFIP 国内委員会を開催し, 各 TC, WG の各国の活動状況その他につき審議した旨, 報告があった。

なお, IMIA へは一定の条件で「医療情報学研究会」が加盟することを了承した。

5.2 中国科学院計算機視察団との懇談会を来る 7 月 26 日に, 高橋副会長, 平沢, 山本各理事で, 行うことにした。

5.3 第 8 回計算言語学国際会議 (COLING 80) 協賛および IFIP/TC 5 WC の Call for Papers 会告の件を了承した。

### 編集関係委員会

○第 23 回会誌編集委員会

9 月 12 日 (水) 17 時 30 分から機械振興会館で開催された。

(出席者) 榎本常務理事, 飯村理事, 井田, 鍛冶, 小林, 志村, 鈴木, 竹内, 田辺, 戸川, 仲

瀬, 発田, 原田, 山本(毅), 山本(昌), 横井, 吉村, 渡辺各委員

(事務局) 山田, 黒沢

#### 議 事

- (1) 会誌 20 巻 10 号, 11 号, 12 号の各目次案を了承した.
- (2) 21 巻 2 号小特集「オンライン情報サービス」の目次(案)の説明.
- (3) 21 巻 5 号「20 周年記念特集号」の座談会(案)の提案.

#### ○第 23 回論文誌編集委員会

9 月 20 日(木) 13 時 30 分から機械振興会館 69 号室で開催された.

(出席者) 首藤, 川崎各理事, 片山, 名取, 三上, 山下, 米澤各委員

(事務局) 木村, 渡辺

#### 議 事

「論文誌」20 巻 6 号の目次(案)を最終的に了承し, 21 巻 1 号掲載予定論文を検討した.

ついで, 「創立 20 周年記念論文」の査読方法につき, 検討, 決定した.

#### ○第 25 回欧文誌編集委員会

9 月 7 日(金) 17 時 30 分から機械振興会館 69 号室で開催された.

(出席者) 後藤常務理事, 三井理事, 小野, 棟上各委員

(事務局) 坂元, 山田

#### 議 事

- (1) 8 月 20 日既刊の Vol. 2, No. 2 の確認.
- (2) 邦文誌掲載論文を欧文誌へ翻訳転載する件.
- (3) 海外の主要学会からの会員相互に購読料 discount の申し出について.
- (4) Mathematical Review への reference の件.

#### 各種委員会 (1979 年 8 月 21 日~9 月 20 日)

- 8 月 25 日(土) 医療情報学研究会
- 9 月 3 日(月) ALGOL 委員会
- 9 月 4 日(火) IFIP 80 展示委員会  
IFIP 80 実行委員会打合せ
- 9 月 10 日(月) 情報処理教育研究委員会

- 9 月 11 日(火) IFIP 80 実行委員会
- 9 月 12 日(水) IFIP 80 論文委員会  
計算機アーキテクチャ研究会  
日本文入力法研究委員会
- 9 月 13 日(木) 計算機システムの解析と制御研究会  
データベース理論研究委員会
- 9 月 14 日(金) 記号処理研究会・連絡会
- 9 月 17 日(月) マイクロコンピュータ研究会
- 9 月 18 日(火) 電子装置設計技術研究会
- 9 月 19 日(水) 人工知能と対話技法研究会
- 9 月 20 日(木) 分散処理システム・データベース  
管理システム合同研究会  
分散処理システム連絡会  
コンピュータビジョン研究会・連絡会  
理事会

#### 〔規格関係委員会〕

- 8 月 23 日(木) SC 16/WG 3
- 8 月 24 日(金) SC 11, SC 16/WG 1
- 8 月 28 日(火) SC 6/WG 3
- 8 月 29 日(水) SC 7, JIS FORTRAN, JIS 用語(H)
- 8 月 30 日(木) SC 6/WG 2, SC 16/WG 2, JIS 用語(S)
- 8 月 31 日(金) SC 16/WG 1
- 9 月 3 日(月) SC 6
- 9 月 4 日(火) 規格委員会
- 9 月 5 日(水) SC 10, SC 16
- 9 月 6 日(木) SC 16/WG 3
- 9 月 7 日(金) JIS 用語(H)
- 9 月 11 日(火) SC 2
- 9 月 12 日(水) JIS 用語(S)
- 9 月 13 日(木) SC 14 Ad hoc
- 9 月 14 日(金) SC 16/WG 1
- 9 月 17 日(月) SC 16/WG 2
- 9 月 18 日(火) SC 5, SC 15
- 9 月 19 日(水) SC 2 Ad hoc, SC 13,  
JIS FORTRAN
- 9 月 20 日(木) JIS 用語(S), (H)



## 入 会 者

昭和45年9月の理事会を承認された方々は次のとおりです(会員番号順、敬称略)

【正会員】会沢国臣、青島信市、荒川晴夫、伊藤和一、伊藤 謙、伊藤紀彦、伊藤道郎、井上正俊、岩田武彦、内川芳彦、内海敏紀、梅澤 清、大石孝孝、大江隆夫、大熊康雄、岡野喜男、奥原哲雄、小倉正士、鬼丸博哉、恩田成夫、金子 勉、川田義弘、北村洋一郎、工藤堅吉、久野恵章、後藤光男、小林成夫、佐藤敬治、島本敦敏、清水盾夫、志村繁夫、下島賢二、進藤武文、新屋英一、鈴木 勤、鈴木洋弥、高久軍四郎、高津 浩、高藤敏和、高橋 昇、高橋範行、竹丘 均、竹屋弘史、多田 豊、田中惟之、田中久史、辻田義範、蔦宗泰孝、露木陽介、土肥定芳、中島久男、永堀 馨、西牧武彦、二本松勝、橋尾政憲、長谷勝秀、林 敬英、藤岡良記、藤崎邦夫、藤原正修、細江鉄男、本間祥亮、本間 宏、曲田 豊、丸山 進、宮崎 正、武藤俊市、村越 稔、村山一夫、本尾和夫、森田政宏、山岸正登、山崎 晃、山田征二郎、山之内誠、山本純一、渡辺康、渡部康正、甲斐知一、佐藤 博、右手正道、石井 優、佐藤泰介、児井武義、広畑和宏、武藤 裕、赤塚英彦、山形久雄、紀ノ定保臣、中津植男、西沢宏章、和歌山哲、酒井宣行、山本芳市、田野中治実、鈴木福一、小野田真穂樹、小林重信、浅野長一郎、二村祥一、夜久竹夫、堀口芳子、長谷博行、田中信行、鴻田五郎、藤本雄一、春日 健、石井茂喜、高橋昌巳、柴武志、佐藤 享、寺嶋祐一、林浩一郎、縄田敏郎、森 啓、松田庸雄、荒川 武、榎木栄樹、斎藤隆夫、丸山文宏、川戸信明、秦 夏子、南川玲子、古沢淳、藤田勝四郎、森井真三、谷村隆義、浅見幾弥、石井 猛、金子俊男、星野仁孝、有本 淳、中川正樹、山崎富雄、小山克司、久保田康夫、PATRASHKOV RUMEH、長沢幸雄、小松 清、菅井賢三、中村啓人、千葉和彦、幅口堅二、田中雅雄、小林 浩、古賀武彦、竹内保彦、西田友是、田淵治樹、湯浅邦男、吉場 登、貴志淑尚、張替信夫、小部正人、小花貞夫、青木崇憲、青木俊道、青山耕三、浅田周子、阿部勝夫、荒川正人、安藤三郎、安藤 努、飯尾和弘、石井 淳、石嶋 治、和泉二郎、井関幸男、一条昭博、市原敬雄、伊藤和達、伊藤又夫、伊藤幹雄、上田孝一、上野成二郎、氏家一行、浦口久司、永鉢義博、遠藤秀一、追永勇次、大木 登、大熊幹夫、大黒厚司、大西克己、大野 寛、大場利彦、大森 治、大森

晋、大脇 修、岡本哲郎、小川義久、押尾勝平、小田雅弘、落合和博、貝沢敏晴、加賀 裕、金田三郎、川喜田裕司、川本幸一、黄海孝行、北岡 浩、北澤正廣、北詰理文、北野雄式、衣笠弘徳、木村清一、楠本康次、工藤了三、久保木勲、郡司雅夫、神武和彦、越野 実、小平昭次、小寺次夫、後藤久明、小湊基行、才田正弘、斎藤一郎、斎藤精一、佐藤清澄、佐藤 繁、佐藤 征、品川明雄、篠田達郎、嶋田俊雄、嶋田浩巳、嶋村敏雄、志村悦男、白鳥茂男、鈴木洋一、瀬川昌平、高井勝彦、高嶋 弘、高山省吾、立田時雄、堅月忠夫、田畑隆司、田村 宏、多羅尾悳三、千葉隆、千葉喬之、寺内誠一、寺川俊昭、遠山 均、戸辺 潔、富田達夫、豊木則行、鳥井浩治、中川直人、長嶋正司、永野元造、中村利武、中村延秋、中村博史、西村和雄、西村幹夫、二宮昭一、塗 善行、野田敬人、長谷川忠司、長谷川浩、波多野龍、浜 寛、林 治、広田泰生、広渡勝一、平田宏毅、平野暢男、福島弘道、福西俊策、福本建雄、藤井 茂、藤平泰雄、堀 一男、増田実夫、増永 直、松田俊春、松元雅美、三浦謙一、毛利康治、毛利信彦、茂木正徳、森口陽介、安川英俊、矢野弓之介、山口悦雄、山室良夫、吉岡義朗、吉武達雄、涌井貞美、和田 治、渡辺好章、天野孝夫、石井信行、石黒憲幸、石坂貞則、大石 充、大高 晃、小澤清治、掛谷幸雄、金沢利光、紙矢俊康、合田治彦、五條 薫、小林一夫、篠原裕、嶋田幸二、杉野博久、杉原正一、春原武彦、大黒剛生、田熊哲彦、富田康裕、中島正志、林 浩兒、平居 謙、藤田喜三、堀 芳博、間瀬 豊、松島敏裕、三本博明、向井彰吾、山内 討、山田純生、吉田隆登、井川俊美、池田清博、井崎直次、石原義史、伊藤大樹、稲垣謙吾、芋川 敏、岩井 晃、岩永満利、内田和彦、梅田貞昭、海老根秀明、大里博志、大西完治、大森洋嗣、奥村公伸、尾崎 潤、小野 輝、小原敏雄、蔭山之雄、片柳 勲、上関純一、川口 充、神原雅志、菊池良一、北澤直人、木村隆治、楠本 章、久保宏志、久保田利秋、桑原 豊、河内 実、今野幸夫、斎藤 修、斎藤英明、斎藤博史、酒卷一雄、佐藤哲朗、三小田雅美、柴坂禎宏、鈴木恒夫、鈴木政治、鈴野茂樹、関山茂寛、瀬田嘉勝、高橋成徳、武田次徳、辰己敬三、伊達政広、田中裕介、田辺英樹、谷口重光、田谷耕一、檀原哲哉、筒井城二、坪倉 孝、東郷邦昭、富樫力男、豊田和男、内藤 透、中水流敏朗、長田秀敏、中野貞樹、中溝統明、中村晴彦、名越主磨、成瀬貫造、野中昌雄、長谷川就一、馬場敏光、

林 知博, 日野克重, 廣澤晃一, 弘末清悟, 福田昌弘, 藤田真彦, 細谷恭一, 堀田文明, 松谷 皓, 三島佳彦, 水落益美, 南 昌宏, 村中道夫, 盛本一成, 山口恒弘, 山口博嗣, 山添 裕, 吉岡良勝, 吉川達也, 吉田 哲, 吉田秀逸, 米山幸彦, 和田憲一, 相沢哲次郎, 有馬昭洋, 岩野 博, 高坂光邦, 近藤暢夫, 猿橋泰孝, 嶋田賢治, 鈴木幹雄, 高木 清, 渡辺正美, 相沢靖三, 青木洋一, 東 安男, 井口哲男, 伊藤英夫, 今井忠昭, 植村 浩, 鶴澤洋二, 内田 勇, 宇波郁道, 江崎 昭, 遠藤 武, 大谷 誠, 大原 治, 大森秀規, 岡田真和, 小川勝正, 影山 隆, 川野玲次郎, 黒田高正, 木実 満, 小林和夫, 柴垣英俊, 清水棟一, 神保克彦, 鈴木孝一, 高田裕司, 武居伸一, 武田 勇, 谷口広明, 津久井節男, 辻 博司, 戸倉克行, 中島 守, 西田正志, 増田莞爾, 増田 稔, 森脇俊樹, 袴塚邦彦, 羽生田健二, 馬場 賢, 林 竜彦, 藤村紀明, 古家輝雄, 山本 昇, 山本正巳, 吉田正, 吉田紀弘, 綿谷幸夫, 網代泰一, 市川清一, 伊藤一夫, 伊奈 博, 稲原孝一, 大島俊司, 大和田明, 岡田 信, 小川恵之, 海保浩三, 掛川良治, 河西義朗, 梶川 顕, 上嶋邦広, 岸川良一, 木下 孝, 木村弘正, 駒村光彦, 小山明雄, 斉藤 寛, 佐柄木宏和, 酒井雄一, 佐々木澄, 柴崎彰夫, 高橋善文, 多田光雄, 田中省三, 町支俊貴, 永井 勇, 中村三夫, 西山浩滋, 深井 孝, 福永厚生, 穂積元一, 松浦成彰, 三上次郎, 水澤彌生, 三橋鎮雄, 宮内和人, 宮崎陽一, 矢儀俊郎, 安田英人, 柳 秀昭, 山口茂敏, 横内一康, 吉川 晃, 吉田鋭一, 吉田哲三, 米川俊之, 和田惇彦, 渡辺敏雄, 新井捷二, 飯塚宏紀, 石橋幸造, 伊藤賢一, 笠口隆重, 岡田祥二郎, 小田正美, 小野幸生, 川口友之, 岸本忠与, 北岡正治, 木下正信, 木村治夫,

工藤東洋雄, 黒羽法男, 小出光郎, 高村哲男, 越川恒俊, 小林正一, 清水一雄, 新保恵司, 末良良平, 鈴木一彦, 高島隆之, 田中 勉, 田中隆一, 玉木 浩, 千代田信博, 辻 篤男, 鶴見陽一, 戸沢 勲, 富岡進, 富田嘉文, 豊島昭男, 中島幸雄, 奈良岡寛司, 野中 巖, 萩野和彦, 藤本元一, 本多 功, 松土憲夫, 宮澤君夫, 望月輝久, 森崎卓史, 矢部堯司, 山田雅紀, 須崎健一, 藤宮宏章, 寺門繁一, 中村良三, 高橋幹男, 城 直介, 長沢良三, 築添 明, 三浦地平

(以上 583 名)

【学生会員】佐藤慶秀, 前田晴通, 岡本勝男, 田口泰志, 中野 潔, 石井 繁, 末野 実, 北島英和, 双田徹郎, 平林元明, 原田勝己, 宮脇裕治, 栗原潮子, 永田真一, 高野重雄, 富室昌之, 中村嘉輝

(以上 17 名)

## 採 録 原 稿

昭和 54 年 8 月の論文誌編集委員会で採録された論文およびショートノートは次のとおりです(カッコ内は寄稿年月日)。

- ▷宮本衛市: PASCAL プログラムにおける変数定義  
使用に関するデータフロー解析 (54. 3. 7)
- ▷磯本征雄, 安岡則武, 田中信夫, 松浦良樹, 角戸正夫: 学術研究用たんぱく質データベース PROTEIN-DB (54. 6. 27)
- ▷木村 泉, 高木茂行, 清水次郎: 仮想記憶における  
有効実記憶容量推定工具とその設計 (53. 7. 25)
- ▷松山公一, 中村良三: リスト FORTRAN とその  
プリプロセッサ (54. 2. 26)
- ショートノート
- ▷野崎昭弘: 安全クイックソート (54. 6. 18)

## 昭和 54 年度役員

会 長 小林宏治  
 副 会 長 坂井利之 高橋 茂  
 常 務 理 事 石井善昭 榎本 肇 木村 豊  
 後藤英一 近谷英昭 矢島脩三  
 理 事 首藤 勝 三浦大亮 飯村二郎  
 川崎 淳 河野隆一 澤田正方  
 平澤誠啓 渕 一博 三井信雄  
 山本欣子  
 監 事 関口良雅 蔵田 昭  
 関西支部長 萩原 宏  
 東北支部長 佐藤利三郎

鈴木久子 関本彰次 高井 啓  
 武市正人 竹内郁雄 田中英彦  
 田辺茂人 田村浩一郎 戸川隼人  
 富田正夫 仲瀬 熙 中野 治  
 西原清一 八賀 明 発田 弘  
 原田賢一 星 守 真汐雅彦  
 山崎晴明 山本毅雄 山本昌弘  
 弓場敏嗣 横井俊夫 吉村彰芳  
 吉村一馬 渡辺隼郎

## 論文誌編集委員会

担 当 理 事 首藤 勝 川崎 淳  
 委 員 内田俊一 片山卓也 鶴保征城  
 名取 亮 三上 徹 山下真一郎  
 米澤明憲

## 会誌編集委員会

担当常務理事 榎本 肇  
 担 当 理 事 飯村二郎  
 委 員 相曾益雄 池田嘉彦 石原誠一郎  
 井田哲雄 浦野義頼 海老沢成享  
 鍛冶勝三 木下 恂 倉持矩忠  
 小林光夫 小柳 滋 齐藤久太  
 齐藤信男 坂倉正純 椎野 努  
 志村正道 白井良明 杉本正勝

## 文献ニュース小委員会

委 員 長 小林光夫  
 副 委 員 長 吉村一馬  
 委 員 秋山 登 岩田茂樹 梅村 護  
 加藤重信 杉原厚吉 寺沢晴夫  
 徳田雄洋 中村 孝 中山信行  
 西垣 通 西村和夫 長谷川洋  
 日比野靖 松原一紀 毛利友治  
 横山晶一 吉田 浩 吉野義行